

---

赤

聖美

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

赤

### 【Nコード】

N7866H

### 【作者名】

聖美

### 【あらすじ】

人と接すること、自分と接すること、不安定な感情の中で

黒

ちょっとしたことで人を嫌いになる。

さっきまでは好きだったのに今は嫌い。 昨日は嫌いだったけど、今日は好き。

自分の思い通りにいかないとすぐに態度に出てしまう。 分かって  
いるのに止められない自分

がいて、後でどうしてそうしたんだと後悔してしまふ。 後悔す  
ることを分かっているのに

その時の自分は止められない。 自分のDNAがそう行動してしま  
う。

まるで二重人格だ。

そんな自分に時々疲れてしまふ。 もっと柔軟に生きて来たはず  
なのに。

どこでその生き方を忘れてしまったんだろ。 学生時代にまで巻き  
戻せたらどんなに楽だろう。

もう少しうまく生きていたはず。

正

人を中傷するよりも、その人を褒めれるほうがいい。

人の悪口を言うよりも、その人の良い部分を話せるほうがいい。

すべての情報が入り乱れて、何が本当なのかが分からなくなっているこの世界で、しっかりと

正しい判断が出来る人間になりたい。

間違いを正せる、そんな人間になれたらいい。

プラスとマイナス

人の為に何かを言う。 人の為に行動する。 人の為に何かをする  
ということが、人と接する

ことなのかもしれない。

相手に一歩踏み込むことは、自分を受け入れてもらうこと。 自  
分を知ってもらうこと。

難しいようで簡単なのかもしれない。

出会いと別れ

毎日新しい人に出会い、何かの区切りと共に別れて行く。

そうやって何人もの人と出会って別れてを繰返して、何かを得て何かを与えて自分が年を重ね

ていく。

当たり前のようになってしまいうのではなくて、出会いをもっと喜び、別れをとっても悲しめる自

分でいたい。

出会えた人を忘れない自分でいたい。

自由

目の前の問題にぶち当たって、悩んで、考えて、どうにもできなくて投げ出したくなった。

でも、友達がガンで急死して、先のことなんて何一つも考えられなかったんだろうって思った

ら、自分の問題なんてとてもちっぽけなことなんだと思えてしまった。

前に進もうとしても進めない人もいるって分かったら、自分がどれだけ自由なのかって思い知

った。

いつ止まるかも分からない足で、しっかり歩いて行かなければならない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7866h/>

---

赤

2010年10月17日18時50分発行